



情報提供の幅が広がります



情報センターからの情報提供の方法として、ホームページ、ブログ、メール配信サービスを通して情報提供を行っておりますが、今年度（平成26年度）より、情報提供の幅（種類）をさらに広げていきます。

まず4月より、情報センターが自主制作番組としてCS障害者放送統一機構（目で聴くテレビ）に提供してきました番組を、本放送終了後に、Youtube（ユーチューブ：動画共有サイト）にて公開を開始しました。

さらにFacebook（フェイスブック）を4月からの試験運用を経て、5月より正式運用を開始いたしました。また5月末より、LINE（ライン）でのサービス提供も試験運用を開始しており、LINEを利用されている方は、「友だち追加」してみてください。

情報提供する内容は、どのサービスでも基本的には同じ内容となりますが、利用される方が自分のスタイルにあったサービスを選択できるように対応いたしました。（※サービスの種類によっては、制限があり情報提供の内容が異なる場合もございます）

上記、各サービスをご利用されている皆さんは、ぜひ利用してみてください。

【各サービスの利用方法】

◆Youtube は <http://www.youtube.com/> にアクセスし、「岐阜県聴覚障害者情報センター」と検索してみてください。現在、6種類の動画を掲載しております。

◆Facebook は <https://www.facebook.com/gifudeafcenter/> にアクセスすると、現在公開されている情報を閲覧することが出来ます。

◆スマートフォンでLINEを既に利用されている方は、「友だち追加」で下記のQRコードを読み取ると、簡単に登録が可能です。（LINEはパソコンでも利用が出来ます。）

スマートフォンやタブレット端末をご利用の方は、上記サービス専用のアプリが提供されているので、アプリをインストールすることをおすすめします。

iPhone（iPad）を利用されている方は「AppStore」（アップストア）のアイコンから、その他のスマホ・タブレット端末（Android）の方は「Playストア」から各々のアプリをインストールすることが出来ます。



LINE 登録 QR コード



【みやぎ被災聴覚障害者情報支援センターのご紹介】

(愛称：みみサポみやぎ)



当センターの動画公開時に、他の情報提供施設等で動画配信を行っているところを調べてみたところ、「みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター」が実施している手話動画の配信が見つかりました。

ホームページ内では、被災された聴覚障害者の生活再建に関連する情報をはじめ、情報保障付きのイベント情報、手話による動画情報（字幕付き）が配信されています。

手話動画の配信は毎週月曜日（月曜日が祝祭日の場合は翌日以降）に行われ、現時点（5月）で

123本の動画が公開されています。

取り上げられているテーマはどれも生活に則したもののばかりで、私達も知らなかった内容の動画を見ることができ、情報の幅広さを感じました。

また公開されている動画には字幕が付けられており、手話が分からない方でも内容を理解することが可能で、動画ページにはテキストデータ（文字情報）が全文掲載されています。

みやぎ被災聴覚障害者情報支援センターのホームページは、<http://www.mimisuppo-miyagi.org/> にアクセスしていただくか、「みみサポみやぎ」で検索しても見つけられます。

この他にも熊本県聴覚障害者情報提供センター、長崎県聴覚障害者情報センター、兵庫県立聴覚障害者情報センター、北九州市立聴覚障害者情報センターなどもyoutubeを利用した動画配信を行っていますので合わせてご覧になってみてはいかがでしょうか？

くすりの絵文字（ピクトグラム）

平成26年2月16日（日）に情報センターで開催されました、早瀬久美氏を講師にお迎えし、「手話でわかる薬のこと」というテーマで講演をしていただきました。

この講演の様子は「手話版」と「字幕付き版」としてDVDを作成し、貸出も開始しているところです。

講演の中で、くすりの絵文字シール（ピクトグラム）についての話題があり、現物を情報センターでも取り寄せてみました。

講演では一部の見本を見せていただきましたが、届いたシールは51種類の絵文字が1セットになったもので、様々な用途に対応できるものとなっています。

数に限りがございますが、実際に使ってみたい方は情報センターまでお越しください。

また、シールは個人でも取り寄せることが可能ですが、送料のみ負担していただく必要があります。



ピクトグラムを手にする早瀬氏

くすりの適正使用協議会

検索

<http://www.rad-ar.or.jp/>

手話言語条例の現状

2013年10月8日、鳥取県議会の全会一致で手話言語条例が可決・成立以降、同年12月16日には北海道石狩市、次いで2014年3月5日には同じく道内の上川郡新得町（かみかわぐんしんとくちょう）で、最近では同年3月24日に東海圏域で初となる、三重県松阪市においても成立されました。

それ以外にも、都道府県や市町村レベルで議会に対して、意見書が提出されており現時点では都道府県は47都道府県に対し、20の県で意見書が可決、区市町村レベルでは1,741の自治体数に対し、156の可決が確認されております。

岐阜県においても、2014年3月19日に岐阜県議会に意見書を提出し、可決されております。

今後、全国の手話言語条例の動向を知るために、ぜひ閲覧して欲しいホームページがございます。

（一財）全日本ろうあ連盟のホームページ内（手話言語法制定推進事業）で、全国の手話言語条例の意見書の提出状況や、条例の成立状況をひと目で知ることが出来ます。

該当ページには、上下に2つの日本地図があり「手話言語法意見書マップ」では、現時点での意見書が可決された地域が県・市町村レベルで色分けされており、提出された意見書も閲覧することが出来ます。

もう一つの地図は「手話言語条例マップ」で、こちらも同様に県・市町村レベルで成立した地域を知ることができ、県名をクリックすると関連資料や写真を見ることが出来ます。

この他にも手話言語法制定推進運動本部ニュースの閲覧や、各イベントなどの情報も掲載されておりますので、ぜひ参考にしてみてください。

■<http://www.jfd.or.jp/> （一財）全日本ろうあ連盟ホームページ。

■<http://www.jfd.or.jp/sgh> 上記ホームページ内、手話言語法制定推進事業ページ。



岐阜県手話通訳者養成講座 ただいま開講中



4月5日（土）から、美濃加茂市生涯学習センターにおいて手話通訳者養成講座がスタートしました。

受講生は、「頑張るぞ〜!」「私、ついていけるかな・・・」「やっぱり難しいな」等、さまざまな思いを胸に、講師の指導のもと、奮闘しています。

緊張の中にも、一緒に学ぶ仲間がいることで、切磋琢磨し、将来の手話通訳者を目指し、第一歩がスタートしています。



◆大気汚染を学ぼう◆



岐阜市自然環境課から講師をお迎えし、ニュースなどで報道されているPM2.5や、大気汚染の原因、発生した場合の予防方法などについて、講演いただきました。

特に話題性のあったPM2.5については、地デジのデータ放送で情報提供されていることや、スマートフォンでも確認できる専用サイトの「そらまめくん」の紹介などもありました。

講演後、早速ご自身のスマートフォンで、そらまめくんを利用し、現在の測定値を確認される様子も見られました。

◆初級手話教室◆



情報センターで隔月で開催しております「初級手話教室」。

単発の教室で講師によって、内容は随時変わりますが、手話を知ってもらい入門という位置づけで、情報センター開設以来継続して開催しております。

この教室をきっかけにして、居住区で開催されている「手話奉仕員養成講座」へとつながってくれたらと、願っております。

開催の案内等はブログやホームページに掲載しておりますので、参加を希望される方は、ぜひチェックしてみてください。

◆絵手紙教室◆



いつもは年賀状の季節に開催する「絵手紙教室」ですが、講師からの要望もあり、5月の開催となりました。

今回は春らしい花や、たけのこ、魚などがテーマとして用意され、講師からアドバイスを受けながら、思い思いに色紙やハガキに描かれていました。

同じテーマでも、人それぞれ色の使い方が違い、どれもいい雰囲気のある作品が並びました。

最後は、皆さんの作品を手にして記念撮影。お疲れ様でした。

メール配信サービスに登録されている方へ（携帯電話）

登録したがメールが届かない場合、迷惑メールの設定を確認してみてください。また、特定のメールアドレスを受信許可する場合は gifuchoucenter@drive.ocn.ne.jp を、ドメイン登録する場合は @drive.ocn.ne.jp で登録して下さい。

※登録用メールアドレスとは異なりますのでご注意ください。

困ってます！



情報センターのブログをご利用下さい。
毎月開催される講座の案内や、字幕付き邦画の上映予定など情報が満載です。
携帯電話からは左のQRコードを読み取ると簡単に情報を得られます。
パソコンからは <http://gifudeaf-center.no-blog.jp/> まで。

